

G2マイラーズカップ

<最終見解>

スピード型のナスルーラ系の血を持つ馬が走りやすいレース。

本命はトゥードジボン。

父イスラボニータは 2017 年の当レース勝ち馬。

その母父コジーンは芝 1200m の G1 でも実績あるナスルーラ系。
母父も米国型ナスルーラ系。

戦歴が示す通り、当コース適性高い血統。

G2フローラステークス

<最終見解>

欧州指向の馬が有利なレース。

本命はカニキュル。

父のエピファネイアは欧州型のなかでも重厚なロベルト、サドラーズウェルズの血を持ち、スケールも大きい種牡馬。

母も新馬戦除いた3勝が芝1800m以上で直線の長いコース。

前走は直線が短いコースに距離短縮で出走したのも向いていませんでした。東京替わり、距離延長で上積みが見込めます。